

地質ニュース

昭和 52 年 8 月

第 276 号

1977

解 説	具志頭 R 1 号井自噴す ～新しいタイプのガス鉱床か～	福 田 理 水 川 松	1
	関東平野の基盤の変形形状と被害地震	鈴木 元 小 三 郎 小 梨 典 岡 木 文 村 木 茂	18
	卓上型電子計算機によるいくつかの計算例 その2 行列計算の試み	吉 井 守 正	32
	磯野清氏 勲五等に叙せらる	技術部化学課	30
	サンゴ礁と石灰岩(1)	大 山 柱	38
海外事情	ソ連のウラン鉱床(1)	岸 本 文 男	45
	竹 田 TAKETA	小 野 晃 司 松 本 久 千 宮 寺 岡 三 夫 神 戸 信 和	60
地学と切手	モロッコの鉱石切手	P. Q.	31
	学 会 掲 示 板		37

編 集 地 質 調 査 所

表 紙 の 写 真

八丁原地熱発電所

52年6月から営業運転が開始された九州電力㈱の八丁原地熱発電所である。わが国第5番目の地熱発電所であり、その設備出力は50MWとわが国地熱発電所最大である。所在地は大分県玖珠郡九重町であり、42年に発電を開始した大岳発電所よりわずか2km程度のところにある。写真の左上の方、遠方にその大岳地熱発電所の蒸気が見られる。写真の右方が八丁原の地熱井であり、左方が発電所本体である。九州電力(株)が大岳について開発建設した2つ目の地熱発電所となるわけで、国産エネルギー資源の開発の観点からもその意義は大きい。通産省では現在国内の地熱資源開発促進のため、諸施策を行なっているが、地質調査所もその一翼をにない。全国地熱地域の基礎調査を分担している。国内の地熱資源の合理的開発の推進が望まれるや切である。

(文 馬場健三 写真 正井義郎)

発 行 株式会社 実業公報社